

2006年3月期 決算説明会

内 容

1. 説明

- (1) JUMP 1 中期経営計画の総括
- (2) 2006年3月期 業績の概況
- (3) JUMP 2 中期経営計画
- (4) 2007年3月期への展望と予想

2. 質疑応答

以上

2006年5月25日(木)

東洋インキ製造株式会社

本資料中の計画、予想は2006年5月25日現在の認識・前提にたっており、
これからの国際情勢、経済事情、事業環境等に著しい変化があった場合には、
実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。



JUMP 1 中期経営計画の総括

経営哲学

人間尊重の経営



経営理念

私たち東洋インキグループは世界に広がる生活文化創造企業を目指します。

- ★世界の人々の豊かさと文化に貢献します。
- ★新しい時代の生活の価値を創造します。
- ★先端の技術と品質を提供します。

行動指針

- ★顧客の信頼と満足を高める知恵を提供しよう。
- ★多様な個の夢の実現を尊重しよう。
- ★地球や社会と共生し、よき市民として活動しよう。



(1993年4月制定)

1993年度より、当時制定した経営哲学・経営理念・行動指針に基づいて経営のみならず日常の活動までを遂行してきた。

東洋インキグループの理念体系

経営哲学

経営者の哲学・信念

経営理念

当社グループの経営の基本方針

行動指針

経営理念を実現するための一人ひとりの行動の原則

ビジョン

中期経営計画

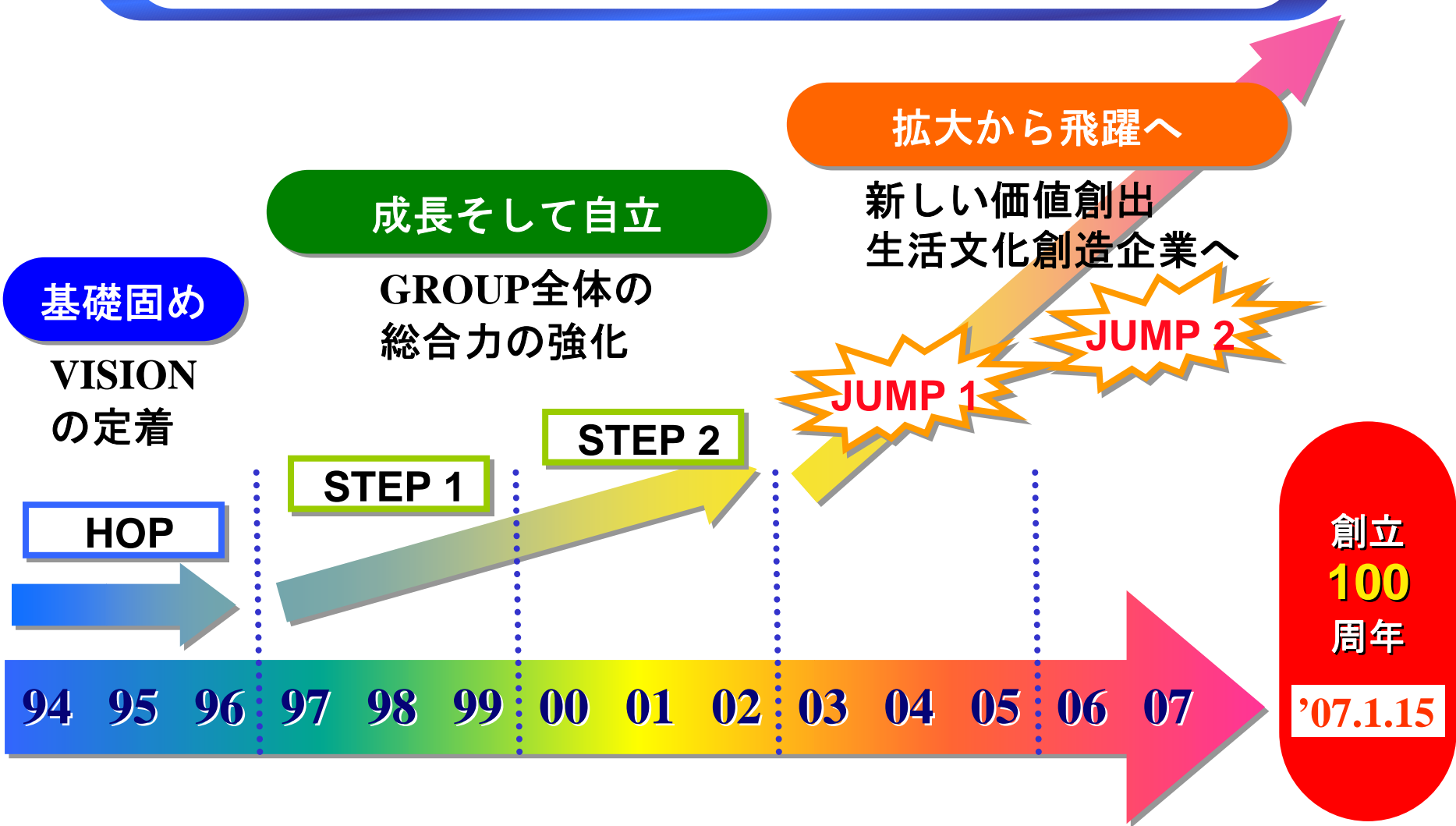
年度経営計画

方針管理・日常管理

計画達成のための日常活動

東洋インキグループビジョン

東洋インキグループビジョン TAKE OFF 2007



中計の重点テーマ
(2004年3月期～2006年3月期)

総 括

1. 成果を志向する スピード経営体制 への移行

2. 価値経営の実践

- (1) 全体最適化戦略と
キャッシュフロー経営
- (2) 個別事業の執行責任

- 21世紀型新しいモノづくり企業グループモデルへの変革
 - スペシャリティケミカルメーカーとして、高付加価値製品へのシフトが進んだ
 - ビジネスモデルの変革により構造的コストダウンが実現できる体質となった
- グローバルサプライチェーンの再編成
 - 国内：生産拠点の再配置が完了
 - 海外：事業生産拠点の最適化構想を推進
- キャッシュフロー重視の経営により、資産効率が改善
- ビジネスユニット間の連携強化と、リスクマネジメント（予防保全）の実践により、スピード経営を実現できる体制を確立



2006年3月期 業績の概況

中計の重点テーマ

2006年3月期経営方針

1. 成果を志向する
スピード経営体制
への移行

1. ねばり強く事業開発、製品開発、システム開発
を成し遂げる

2. 成果に結びつけるブランド力、技術力、マン
パワーのステップアップを図る

2. 価値経営の実践

- (1) 全体最適化戦略と
キャッシュフロー経営
- (2) 個別事業の執行責任

3. CSR重視の真のSSにチャレンジする

(単位:億円)

科目	2006年3月期	2005年3月期
売上高	2,362	2,293
売上原価	1,816	1,746
販売費・一般管理費	414	424
営業利益	132	123
営業外収益	30	26
営業外費用	20	23
経常利益	141	125

科目	2006年3月期	2005年3月期
特別利益	16	10
特別損失	41	44
税金等調整前 当期純利益	116	91
法人税、住民税 及び事業税	42	17
法人税等調整額	6	19
少数株主利益	6	4
当期純利益	63	51

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
対前期増減率(%)	3.0	7.2	13.1	22.6
対予想増減率(%)	0.5	▲2.6	4.8	4.7
前回予想(億円)	2,350	135	135	60

(単位:億円)

科目	2006年3月末	2005年3月末
流動資産	1,555	1,316
固定資産	1,498	1,397
繰延資産	-	0
資産合計	3,053	2,714
流動負債	946	949
固定負債	524	478
負債合計	1,470	1,427
少数株主持分	68	35

科目	2006年3月末	2005年3月末
資本金	317	246
資本剰余金	329	258
利益剰余金	789	750
その他有価証券 評価差額金	92	42
為替換算調整勘定	▲10	▲43
自己株式	▲2	▲1
資本合計	1,515	1,252
負債、少数株主持分 及び資本合計	3,053	2,714

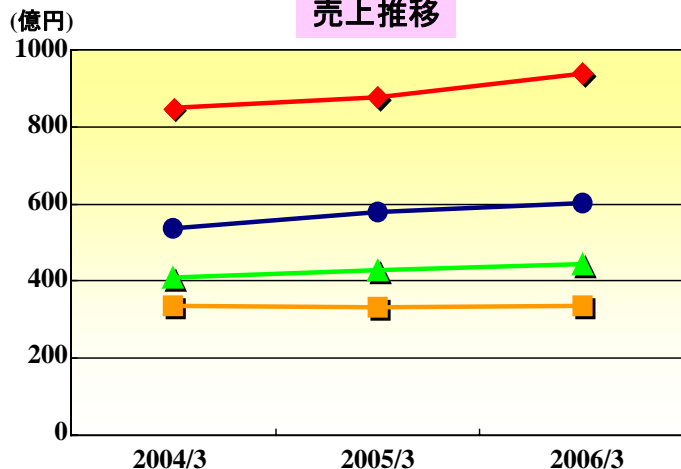
	連結会社 従業員人数 (人)	連結子会社 (社)	持分法適用 関連会社 (社)	総資産	株主資本	株主資本比率 (%)	ROA (%)	ROE (%)	有利子 負債	保証債務
2005年3月期	6,164	62	10	2,714	1,252	46.1	1.90	4.15	800	29
2006年3月期	6,495	63	8	3,053	1,515	49.6	2.18	4.54	734	23

当該決算期のトピックス

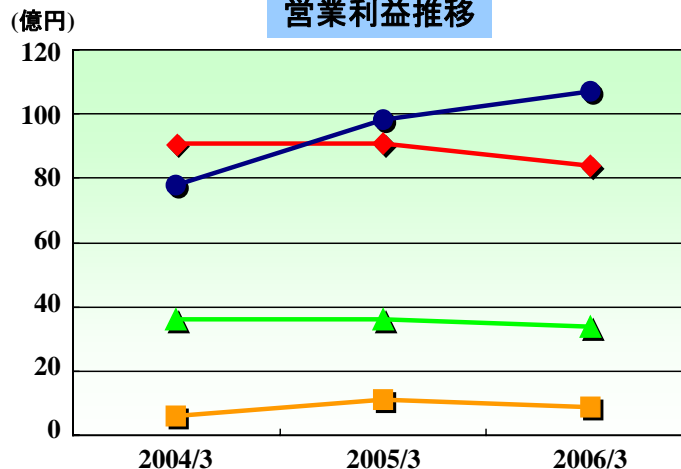
- 原材料の高騰により収益を圧迫
- 産業用インクジェットインキが大幅に伸張
- FPD・FPC向け高機能材料群が好調に推移
- CFレジストインキが伸張
- オフセットインキ・UVインキが好調
- 国内拠点集約に伴うコストダウン効果が継続
- 海外生産拠点整備を進めた

事業の種類別セグメントの推移

売上推移



営業利益推移



印刷インキ

グラフィックアーツ
関連機器および材料

高分子関連材料

化成品および
メディア材料

その他

(単位:億円)

	印刷インキ		グラフィックアーツ 関連機器および材料		高分子関連 材料		化成品および メディア材料		その他		消去又は全社		合計	
	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
2004年 3月期	851 (▲2.6)	91 (0.6)	337 (1.5)	6 (***)	408 (▲2.1)	36 (▲0.1)	535 (1.8)	78 (13.5)	95 (▲7.8)	▲1	▲61 (***)	▲117 (***)	2,164 (▲0.3)	94 (16.7)
2005年 3月期	878 (3.2)	91 (▲0.5)	331 (▲1.6)	11 (74.4)	430 (5.5)	36 (▲0.6)	578 (8.0)	98 (25.6)	140 (47.3)	4 (***)	▲65 (***)	▲118 (***)	2,293 (6.0)	123 (29.9)
2006年 3月期	938 (6.8)	84 (▲7.8)	336 (1.5)	9 (▲22.4)	445 (3.5)	34 (▲4.5)	604 (4.6)	107 (8.8)	107 (▲23.9)	3 (▲35.7)	▲68 (***)	▲105 (***)	2,362 (3.0)	132 (7.2)

施策と実行結果 (1)

■ 印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年3月期 実績	878	91
2006年3月期 実績	938	84

●前期比 6.8% ▲7.8%

施策

1. 埼玉製造所への拠点集約効果を最大限に活用したコストダウン
2. 品種統合により、顧客も含めたトータル在庫圧縮で収益構造変革を推進
3. 中国・アジア・オセアニアでのインキ事業の拡大と増産ラインの軌道化

実行結果

- ❖ 埼玉製造所への拠点集約は完了。品種統合を継続推進中
- ❖ 原材料価格の高騰により収益を圧迫
- ❖ 中国・アジア・オセアニアでのインキ事業の拡大を推進した
- ❖ 高付加価値製品の市場投入（広演色インキ・環境対応型インキ）

■ グラフィックーツ関連機器および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年3月期 実績	331	11
2006年3月期 実績	336	9

●前期比 1.5% ▲22.4%

施策

1. 取り扱い製品のさらなる集中化による収益向上
2. 顧客の業務革新に対する提案の継続
3. 機械機器の取り扱いラインアップと仕入れ先の見直し

実行結果

- ❖ 印刷材料の共同購買によるコストダウンが実現
- ❖ デジタル印刷機でHP社と協業開始

施策と実行結果 (2)

■高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年3月期 実績	430	36
2006年3月期 実績	445	34

●前期比 3.5% ▲4.5%

施策

1. FPD関連材料事業の拡大推進
2. 原材料価格高騰に見合う収益構造の改善
3. 海外事業の拡大

実行結果

- ❖ 高付加価値分野へのシフトにより、事業構造を変革
- ❖ 原材料価格高騰により、従来製品の利益を圧迫
- ❖ 中国や東南アジアでの供給体制強化と拡販

■化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年3月期 実績	578	98
2006年3月期 実績	604	107

●前期比 4.6% 8.8%

施策


1. 高機能顔料・分散体の拡販強化
2. 汎用顔料の品種統合によるコストダウン
3. プラスチック用着色剤の海外事業展開を加速

実行結果

- ❖ CFレジストインキは好調に推移、増産体制整備
- ❖ 産業用インクジェットインキの二桁成長
- ❖ プラスチック用着色剤は自動車・家電市場でワールドサプライヤーとして伸長
- ❖ 汎用顔料事業の生産体制見直しと、高付加価値製品へのシフトによる収益改善
- ❖ 有機EL材料は大手電気メーカーのモバイル機器に新規採用

(単位：億円)

	2005年3月期		2006年3月期		概況
	売上実績	営業利益	売上実績	営業利益	
日本	1,913	96	1,913 (▲0.0%)	105 (9.6%)	CFレジストインキが好調に推移。接着剤関連やインクジェット材料・UVインキの販売も好調。生産拠点集約によるコストダウンや品種統合によって収益を確保。
中国・アジア・オセアニア	384	23	467 (21.5%)	24 (3.6%)	台湾のCFレジストインキの販売が好調に推移。各国で印刷インキが好調に推移するも原材料価格高騰の影響を受け、収益が圧迫された。上海や珠海の新会社は本格稼働し、拡販が進んだ。
ヨーロッパ	82	▲3	75 (▲8.0%)	▲6 (***)	主力の汎用顔料は、顧客の資本再編による内製化や価格競争の激化により苦戦。高付加価値品へのシフトを継続。
北米	96	1	114 (18.1%)	2 (157.8%)	自動車関連のプラスチック用着色剤や塗工材料・メディア材料などの新規事業が大幅に伸長した。オフセットインキも好調。
連結	2,293	123	2,362 (3.0%)	132 (7.2%)	

ドメイン別主要新製品	売上小計	修正後達成率
環境調和型印刷・包装資材材料事業	170億円	通期売上目標(期初177億円) 170億円(下方修正) に対し  100%
オフ枚葉新製品 RC(UV, EB)インキ新製品群 ノントルエン包装グラビアインキ 印刷物連続検査システム 他		
機能性材料事業	96億円	通期売上目標(期初80億円) 100億円(上方修正) に対し  96%
光学・電子・メディカル用粘着剤 環境対応マーキングフィルム 高機能性接着剤 エレクトロニクス用テープ 他		
電子・情報材料事業	218億円	通期売上目標(期初183億円) 210億円(上方修正) に対し  104%
CFレジストインキ 産業用IJインキ材料 有機EL 記録媒体用バックコート材料 他		

合計484億円

期初目標440億円  480億円に上方修正(中間期)  実績484億円(101%)

◆設備投資の方向性

(単位：億円)

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期予想
設備投資	165 (130)	139 (79)	139 (68)	180 (90)
減価償却費	113 (79)	116 (84)	116 (82)	115 (74)

※有形および無形固定資産、()内は単体

主要設備投資項目(2006年3月期)

(単位：億円)

◆東洋インキ本体

国内拠点の整備

富士製造所	高機能顔料製造設備	19
埼玉製造所	グラビアインキ製造設備	13
川越製造所	樹脂・粘着剤・着色剤製造設備	11

(単位：億円)

◆海外関係会社

海外のビジネス
チャンスの拡大

台湾東洋彩光	CFレジストインキ工場	12
三永インキ&ペイント(韓国)	新工場移転	7
フランカラー(フランス)	高機能顔料生産設備	6



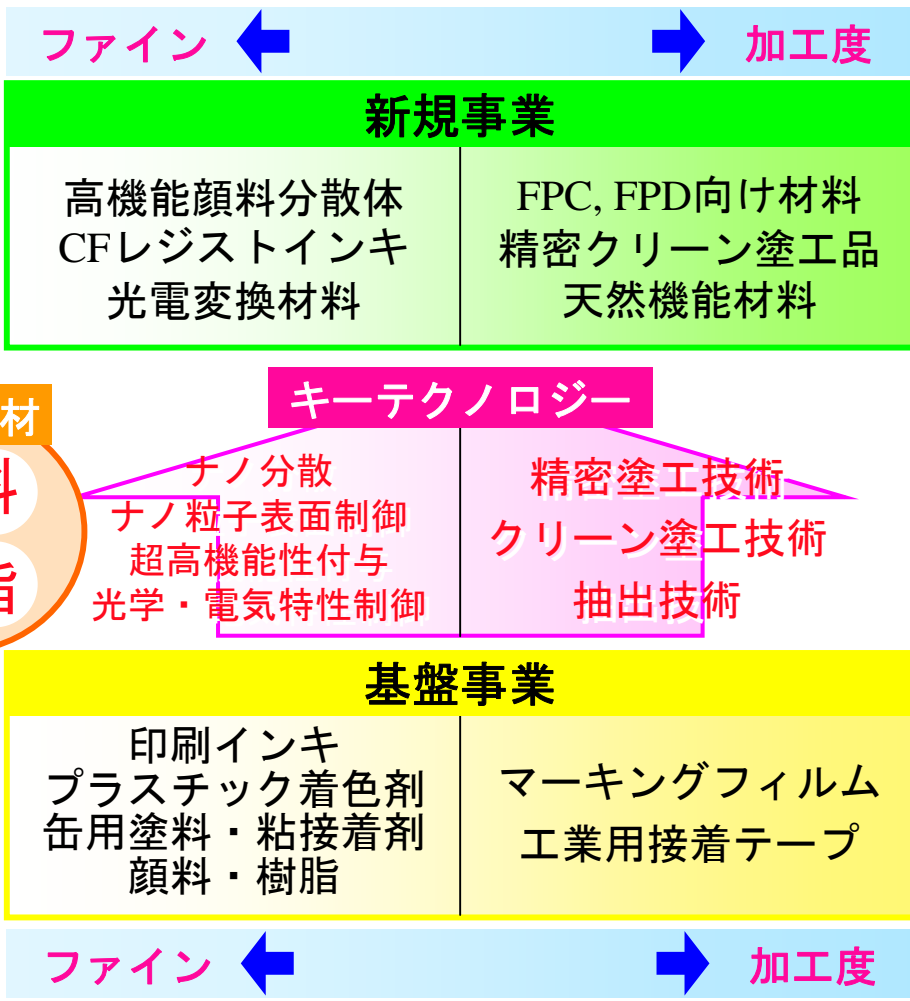
JUMP 2 中期経営計画

JUMP 2 中期経営計画

第一の100周年を完結し、次なる100周年へ全グループを挙げてスタートダッシュする「メモリアル中計」であり、20世紀型モノづくりから、21世紀型モノづくりへの脱皮が徐々に身につけてきた結果として、史上最大売上・最高収益を達成する。

- 基幹素材である顔料・樹脂をベースとして加工度を高めるスペシャリティ化
- ナノテクノロジー・添加剤・天然素材抽出といったファインケミカル
- 印刷インキを中核としたグローバル化
- 日本発のマーケット対応のマーケティング提案・サプライチェーンマネジメント対応力の向上
- 環境時代の安全・安心のモノづくりへのチャレンジ

スペシャリティ化



スペシャリティケミカルの追求

成長

エレクトロニクス

自動車

事業・市場展開

グローバルでの事業拡大

拡大

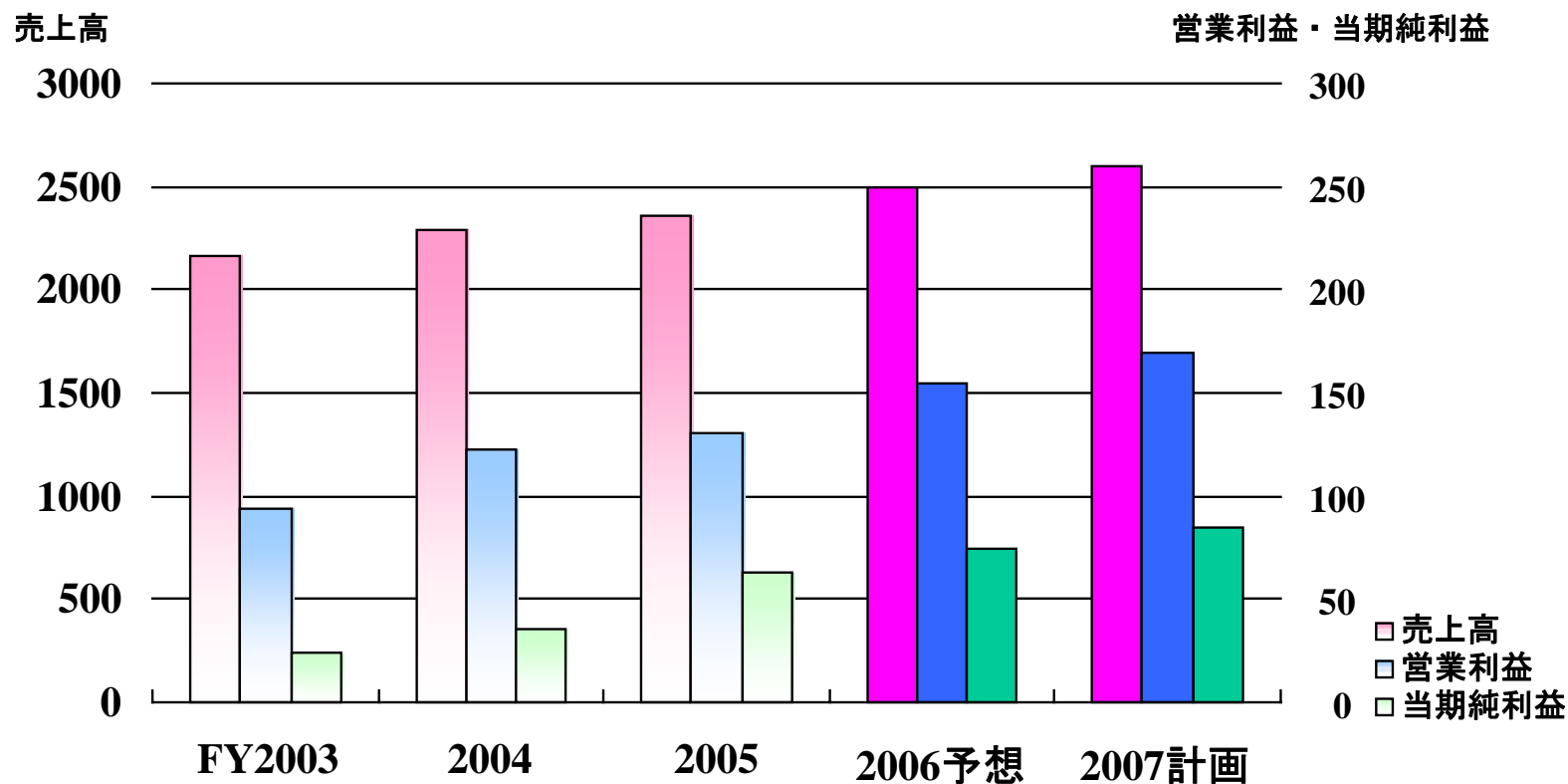
印刷

包装

生活者の視点

- ★新しい時代の生活の価値を創造
- ★先端の技術と品質を提供
- ★世界の人々の豊かさと文化に貢献

素材から加工製品まで一貫したサプライチェーンが当社の強み



	売上高	営業利益	当期純利益
2006年度	2,500億円	155億円	75億円
2007年度	2,600億円	170億円	85億円



2007年3月期への展望と予想

世界に役立つスペシャリティケミカルメーカーとして 進化する企業グループを目指す

- ◆ 第一の100周年の完結
- ◆ 20世紀型モノづくりから21世紀型モノづくりへの脱皮

モノづくり企業として独自のコストダウンシステムを作り上げる

- 素材から製品までのワークフローの最適化

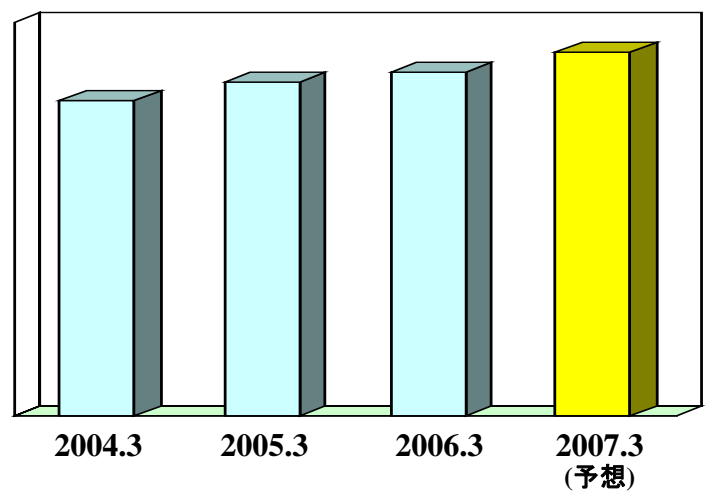
開発（技術）、開拓（営業）、拡張（事業領域）を粘り強く行う

- 新しいマーケティング手法をベースにした成長モデルを生み出す

エリア別の戦略・戦術を強化して、縦型主体の組織運営から
縦横戦略連携プレーによるマトリクスマネジメントへ進化する

連結業績予想

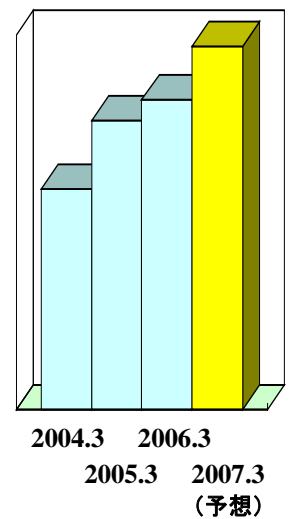
売上高



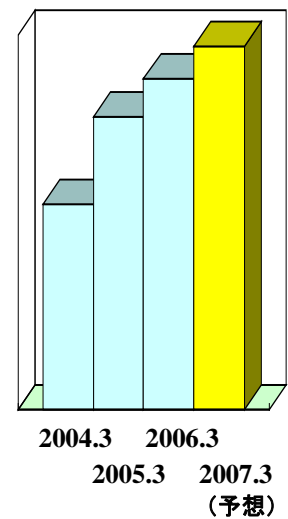
(単位:億円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3 予想
売上高	2,164	2,293	2,362	2,500
前期比		▲0.3	6.0	3.0

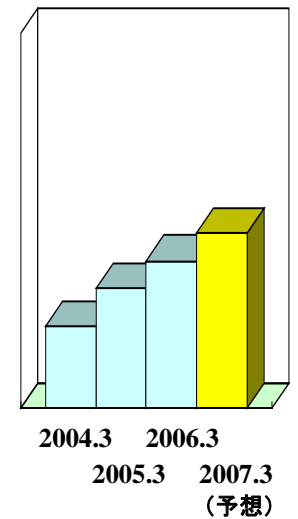
営業利益



経常利益



当期純利益



(単位:億円)

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3 予想
営業利益	94	123	132	155
前期比		16.7	7.2	17.8
経常利益	88	125	141	155
前期比		15.9	13.1	9.6
当期純利益	35	51	63	75
前期比		65.6	22.6	19.4
ROE (%)	2.92	4.15	4.54	4.89
ROA (%)	1.31	1.90	2.18	2.44

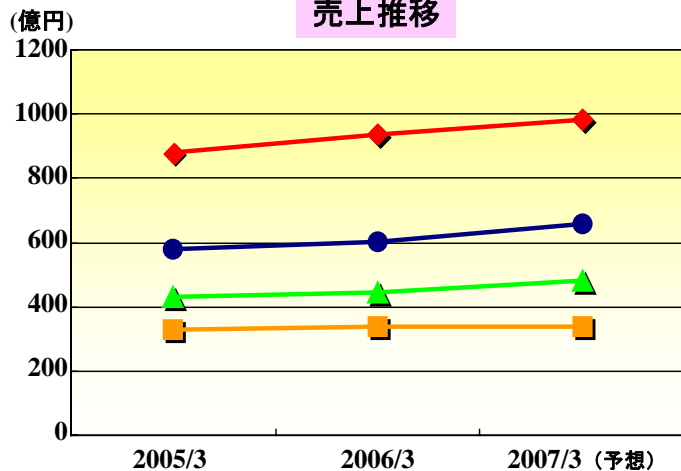
スペシャリティケミカル
メーカーへの転換を確実にする

(単位:億円)

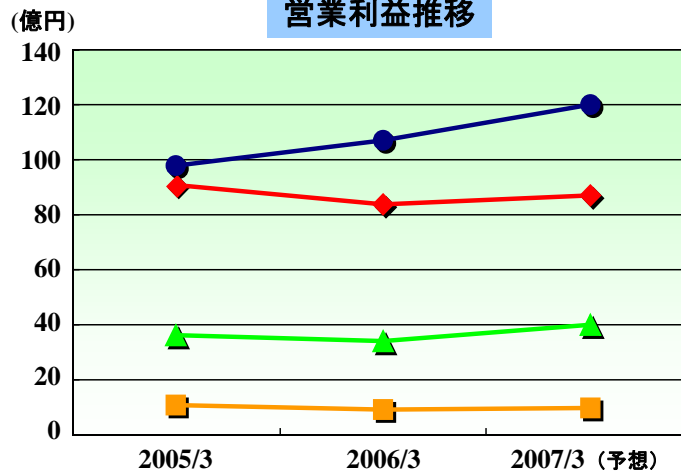
	連結会社 従業員人数 (人)	連結 子会社 (社)	持分法適用 関連会社 (社)	総資産	株主資本	株主資本 比率 (%)	ROA (%)	ROE (%)	有利子 負債	保証 債務
2004年3月期	6,064	65	11	2,681	1,221	45.5	1.31	2.92	852	37
2005年3月期	6,164	62	10	2,714	1,252	46.1	1.90	4.15	800	29
2006年3月期	6,495	63	8	3,053	1,515	49.6	2.18	4.54	734	23
2007年3月期 (予想)	6,500	64	8	3,100	1,550	50.0	2.44	4.89	650	20

事業の種類別セグメントの推移

売上推移



営業利益推移



印刷インキ

グラフィックアーツ
関連機器および材料

高分子関連材料

化成品および
メディア材料

(単位:億円)

	印刷インキ		グラフィックアーツ 関連機器および材料		高分子関連 材料		化成品および メディア材料		その他		消去又は全社		合計	
	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
2005年 3月期	878 (3.2)	91 (▲0.5)	331 (▲1.6)	11 (74.4)	430 (5.5)	36 (▲0.6)	578 (8.0)	98 (25.6)	140 (47.3)	4 (***)	▲65 (***)	▲118 (***)	2,293 (6.0)	123 (29.9)
2006年 3月期	938 (6.8)	84 (▲7.8)	336 (1.5)	9 (▲22.4)	445 (3.5)	34 (▲4.5)	604 (4.6)	107 (8.8)	107 (▲23.9)	3 (▲35.7)	▲68 (***)	▲105 (***)	2,362 (3.0)	132 (7.2)
2007年 3月期 (予想)	980 (4.5)	87 (4.0)	340 (1.1)	10 (13.9)	480 (7.9)	40 (16.6)	660 (9.3)	120 (12.3)	110 (3.0)	3 (12.4)	▲70 (***)	▲105 (***)	2,500 (5.8)	155 (17.8)

■ 印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	938	84
2007年3月期 予想	980	87

● 前期比 4.5% 4.0%

- ❖ 日本・欧州・米国で次世代型高付加価値製品を拡大
- ❖ 品種統合を加速し、拠点集約効果を最大化する
- ❖ UVインキ事業の拡大
- ❖ アジア成長地域における事業拡大の継続
- ❖ 原料価格高騰に対応した独自のビジネスモデルによるコストダウン

■ グラフィックーツ関連機器
および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	336	9
2007年3月期 予想	340	10

● 前期比 1.1% 14.0%

- ❖ 次世代印刷色調検査システム販売を開始
- ❖ カラーマネジメントノウハウによるワークフロー提案で、印刷インキ事業へ貢献
- ❖ アライアンスの継続強化による、利益率向上

■ 高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	445	34
2007年3月期 予想	480	40

● 前期比 7.9% 16.6%

- ❖ エレクトロニクス（FPD・FPC）向け高機能材事業の拡大
- ❖ 自動車・ライフサイエンス市場への展開加速
- ❖ 低収益品の収益改善
- ❖ 高機能分野の川下展開による付加価値の取り込み

■ 化成品およびメディア材料

(単位：億円)




	売上高	営業利益
2006年3月期 実績	604	107
2007年3月期 予想	660	120

● 前期比 9.3% 12.3%

- ❖ CFレジストインキ拡大に向け、台湾CF内製パネルメーカーへの積極展開
- ❖ 高機能顔料・分散体の拡販強化
- ❖ 産業用IJインキ材料の継続拡大
- ❖ 着色剤事業のグローバル展開を推進
- ❖ 顔料と印刷インキ事業のグローバルでのグループシナジー発揮
- ❖ 天然物由来製品事業の加速と生産インフラ整備

(単位:億円)

	2006年3月期 売上高 実績	2007年3月期 売上高 予想	差	2006年3月期 営業利益 実績	2007年3月期 営業利益 予想	差
日本	1,913	1,980	+ 68	105	120	+ 15
中国・アジア ・オセアニア	467	530	+ 63	24	29	+ 5
ヨーロッパ	75	80	+ 5	▲6	▲4	+ 2
北米	114	120	+ 6	2	5	+ 3
小計	2,568	2,710	+ 142	126	150	+ 24
消去又は全社	▲206	▲210		5	5	
連結	2,362	2,500	+ 138	132	155	+ 23

ドメイン別主要新製品	目標
環境調和型印刷・包装資材材料事業 オフセット環境対応新製品 UVインキ新製品群 次世代ラミネートグラビアインキ 高速印刷機用新聞インキ 他	売上170億円  売上200億円 (2007年3月期)
機能性材料事業 FPD関連製品群 光学・電子・メディカル用粘着剤 FPC関連粘着テープ製品群 高機能性接着剤 他	売上96億円  売上105億円 (2007年3月期)
電子・情報材料事業 CFレジストインキ 産業用IJインキ材料 RFID用材料 有機EL 他	売上218億円  売上255億円 (2007年3月期)

合計
新製品・新事業の売上貢献
●2005年3月期実績 売上 408億円
●2006年3月期実績 売上 484億円 (売上高比 20.5%)
●2007年3月期目標 売上 560億円 (前期比+15.7%) (売上高比 22.4%)